



2020年12月2日発行

2020年12月号 (通算243号)

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102  
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

## 【2020～2021主題】

国際会長 Jacob Kristnsen 「Values, Extension and Leadership」  
 アジア太平洋地域会長 David Lua 「Make a Difference」  
 東日本区理事 板村 哲也 「変化をたのしもう！」  
 あずさ部長 御園生 好子 「変わるに挑戦」  
 東京武蔵野多摩会長 渡辺 大輔 「新しい生活様式の中で何ができるのか。」

## 【クラブ役員】

会長 渡辺 大輔  
 副会長 小林 文彦  
 書記 山口 直樹  
 会計 宮内 友弥

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club (韓国)

D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2020年  
12月の聖句

光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった

ヨハネによる福音書 第1章5節

### ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

### ワイズの信条

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにY M C Aに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

### ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてY M C Aの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

## 12月例会の予定

強調月間：EMC/MC

日時：12月9日(水)

19時開始

会場：ZOOMにて開催

〈プログラム〉

- \* 開会点鐘(会長)
- \* ワイズソング
- \* ゲスト、ビジター紹介
- \* プログラム

西東京センタークリスマスYouTube

配信に協力するための動画撮影

\* 連絡、報告、にここに

\* **12月のハッピー・バースデー** 該当なし

## 11月例会報告

在籍者	11名
出席者	10名
メーキャップ	0名
出席率	91%
ゲスト(リーダー)	1名
ビジター	3名
メネット・コメント	0名
にここに	11,500円

## 東京武蔵野多摩クラブ 11月例会(11月11日)報告

・今年度初の西東京センターでの例会開催

・御園生部長公式訪問

部長挨拶：部会が終了し、ほっとしているところ。お願いとして、  
 ①各クラブ、リモート活用等で例会の推進を、②リモート対応ができないメンバーには書面等での情報共有を、③CSの推進を、④EMCとして、「仮称：文京アフタヌーンクラブ」の立ち上げにご協力を、⑤IBCとして、甲府クラブがZOOMでの締結あり。

ゲスト紹介(部長より)：米山さんは、全国フードバンクの事務局長。所沢クラブの活動でもお世話になっている。お母様(理事長)も山梨で広く活動されており、山梨YMCAも共働している。

### 米山さん卓話

フードバンクとは？

食品ロスとは？なぜ食品ロスを削減する必要があるのか？

貧困が子どもに与える影響とは？

フードバンク協議会の活動紹介

- ・全国のフードバンク活動の立ち上げ、支援、政策提言活動など
- ・全国のフードバンク団体への食品提供
- ・ノウハウ支援や新設団体の立ち上げ

貧困が子どもに与える影響 (教育機関への調査から)

「学習意欲が低い」と思うか

とても悪い	24%
やや悪い	80%
どちらでもない	19%
あまりでもない	8%
全くでもない	1%

貧困世帯とされる子どもは、それ以外の子どもと比べて「学習意欲が低い」と思うかという問いには、「とても悪い」、「やや悪い」を合わせて78%が学習意欲が低いと思うと回答した。

(1ページ目より続き：11月例会報告)

食品ロスとは？なぜ食品ロスを削減する必要があるのか？

- ・ 安全に食べられるのに廃棄されてしまう食品
- ・ 市町村におけるごみ処理経費への負荷
- ・ 世界の9人に1人が栄養不足（約8億人）
- ・ 世界で生産された食品の約1/3が捨てられている（2015年の国連サミットでSDGsが採択・食料の損失、廃棄の削減を目標化）
- ・ 日本では年間612万トン（国民全員が毎日1食分を廃棄する量に相当）（WFPの食料援助量：390万トンの1.6倍に相当）（政府は2030年までに食品ロスの半減を目標化）

フードバンク活動（含、質疑）

- ・ 外箱の破損品、販売・納品期限切れ、防災品、フードドライブ（一般家庭からの提供）
- ・ 食品提供企業、寄付・協賛企業&団体による支援がベース
- ・ 市民によるボランティア活動（食品の寄付、賞味期限チェック、仕分け、箱詰め、発送）
- ・ 夏休み、冬休みの集中支援（フードバンクこども支援プロジェクト）→母子世帯が全体の約8割、小中学校を經由して支援対象家庭からの申し込み受付（小中学校を通す方法以外に、就労援助世帯への連絡に封入などの方法も取られている）
- ・ 賞味期限は1または2カ月以上で管理が多い
- ・ 山梨は地理的な面で宅配での配送を実施、関東ではパントリーに取りに来る形が多い

(中村吉孝)



<東京YMCA便り>

▼第34回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン  
第34回は、コロナ禍のため、例年の木場公園での開催をやめ、スマートフォンのアプリを利用したウォーキングイベントとして開催しました。初めての試みでしたが、10月10日から11月1日の期間中、総勢1,213人が参加し、参加者が歩いた総歩数は約9,000万歩、距離にして約6万km（約地球1周半分）となりました。益金4,389,500円は、YMCAが主催する障がいのある子どもたちを支援するプログラムのために用います。

▼三菱商事・YMCA秋の山中湖ファミリーキャンプ  
毎年秋に実施している発達支援の子どもたちを対象とした「三菱商事・YMCA秋の山中湖キャンプ」は、家族で参加するファミリーキャンプとして開催しました。コロナウイルス感染防止に配慮しながら、14家族とボランティアリーダー、三菱商事の社員ボランティア他、総勢67人が集い、クラフトやレクリエーション、カヌーなどを楽しみました。

▼今後の予定

1月29日 熊本豪雨災害復興支援チャリティーコンサート 会場：日本基督教団霊南坂教会 出演：青山学院女子短期大学グロリアス・クワイア（ハンドベル）飯靖子氏（指揮・オルガン）飯顕氏（ヴィオラ）

(出沼一弥)

甲府21クラブ30周年記念例会に参加して

11月14日(土)岡島ローヤル会館（甲府市）にて開催された甲府21クラブ30周年記念例会に板村さん、渡辺さんと共に参加。11時の開会点鐘、興水会長の歓迎挨拶に続き来賓として樋口甲府市長、板村理事、露木山梨Y総主事が約80名の出席者を前に祝辞を述べられた。その後チャーターメンバーで30年間例会に休まず360回皆勤された駒田勝彦さんの表彰式、新入会員お二人の入会式、「ある感染症に勝利した甲府盆地の人々」と題してクラブメンバー葉袋勝さんによる興味深い記念講演、オーストラリアアデレードクラブとのIBC締結式と盛り沢山のプログラムがあった。

締結式終了後、懇親会では新型コロナ感染防止に配慮しつつ、ご馳走をいただき、その後久しぶりの対面でのワイズ仲間との交流を楽しんで15時お開きとなった。コロナ対策のため



参加者も絞り込みご苦労された記念例会となったが、入会式やZoomを駆使してのIBC締結式など同クラブの勢いを強く感じさせる素晴らしい記念例会でした。

(宮内友弥)

「第14回ペタペタの会」に参加しました

日時：2020年11月15日（日）09:30～15:40

場所：国営昭和記念公園／たましん美術館

主催：東京YMCA西東京コミュニティーセンター

参加者：16名（当クラブより1名）

天気：好天

西立川口前広場に集合。東京多摩みなみクラブの田中博之さんのガイドで公園に関するクイズを行いながら紅葉真っ盛りの公園内を散歩しました。水鳥の池→かたらいのイチヨウ並木→ローンボウルズ/フライングゴルフ体験→みんなの原っぱ（弁当）→日本庭園→こもれびの里→立川口。歩行約16,000歩。公園の後、3時10分頃から「たましん美術館」で東洋古陶磁展(67点)を見て解散。

いろいろな発見と学びをしながら皆さんと楽しく健康的な一日を過ごしました。

(板村哲也)

